

平成12年版

鳥取県環境白書



このみずみずしさを未来へ
鳥取県

鳥取県環境白書の発刊にあたって

私たちの鳥取県は、豊かな自然環境に恵まれ、幸いにしてこれまで深刻な公害を直接的に被ることはありませんでした。

しかしながら、私たちが過ごしてきた20世紀は、大量生産 大量消費 大量廃棄型の経済社会の進行に伴い、生活排水等による水質汚濁や廃棄物問題などの身近な環境問題に加え、新たに地球温暖化などの人類共通の生存基盤に関わる重要な問題が顕在化しています。また、原因と影響範囲、講ずべき対策が比較的明らかであった従来型の公害問題に比べ、今日の環境問題は生産活動の拡大や利住性を追求する人々の日常活動が起因しているなど ますます複雑な様相を呈しています。

このような問題に的確に対応するため鳥取県では、「鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例」及びこれに基づく「鳥取県環境基本計画」を定め、「循環を基調とし、恵み豊かな自然と共生できる快適な社会の構築」に努めております。

今日の環境問題を解決するためには、人々の生活や事業活動の在り方そのものを環境への負荷の少ないものに変えていくことが必要となっています。このため、鳥取県では、平成11年に「環境にやさしい県庁率先行動計画」を策定し、自ら省資源 省エネルギーを実践するとともに、平成12年12月には県本庁知事部局の事務 事業を対象とした環境に関する国際規格であるISO14001の認証を取得いたしました。

21世紀のスタートとなる本年4月には鳥取環境大学が開学するほか、平成14年の開設を目指し鳥取県衛生環境研究所の整備を本格的に進めており、今後は持続可能なライフスタイルや経済社会システムの実現に向けた企業、大学、行政、NGO等の活動がパートナーシップを発揮しつつ加速していくものと期待しております。

この環境白書は、平成11年度における本県の環境の状況並びに環境の保全及び創造に関して講じた施策及び平成12年度において講じようとする施策について取りまとめたものです。

本書を通じて多くの皆さんが 今日の世界環境問題に対する認識と本県の環境の状況に対する理解をより深めていただくとともに、環境の保全と創造に向けた行動に繋げていただく上での一助となれば幸いです。

平成13年2月

鳥取県生活環境部長 谷 口 勝 彦

平成12年版鳥取県環境白書 目次

第1部 総説

第1章 本県の環境行政の動向と最近の環境問題	1
第1節 本県の環境行政の動向	1
第2節 最近の環境問題への対応	5
第2章 平成11年度における環境の状況	9
第1節 生活環境の状況	9
1 大気環境	9
2 水環境	11
3 土壌・地盤環境	11
4 廃棄物	11
5 環境汚染化学物質	13
第2節 自然環境の状況	13
1 森林	13
2 農地	14
3 水辺（湖沼、河川、沿岸域）	15
4 自然公園等	15
5 野生動植物	16
第3節 快適環境の状況	17
1 自然とのふれあい	17
2 都市の快適環境	17
第4節 資源利用の状況	18
1 石油製品の消費	18
2 電力消費	18
3 ガスの使用	19
4 水の使用	20
第5節 地球環境の状況	20
第6節 社会経済 交通の状況等	21

第2部 平成11年度において講じた環境の保全及び創造に関する施策

第1章 循環を基調とする経済社会システムの実現	24
第1節 環境への負荷の少ない社会の構築	24
1 廃棄物減量化とリサイクル	24
2 大気環境の保全	29
3 水環境の保全	31
4 土壌・地盤環境の保全	35
5 環境汚染化学物質の適正管理	35
第2節 環境関連産業の振興	36
1 環境関連技術の開発	36
2 環境関連産業の育成・振興	37
（指標で見る重点プロジェクト進捗状況）	38
第2章 自然と人間との共生の確保	41
第1節 森林、農地、水辺等の持つ環境保全機能の確保	41
1 森林の環境保全機能の確保	41
2 農地の環境保全機能の確保	42
3 都市地域の自然環境の確保	44
4 水辺（河川、溪流、砂浜、沿岸域等）の環境の保全	44
第2節 多様な自然環境の保全と生物多様性の確保	46

1	「貴重な自然」と「身近な自然」の保全	46
2	生物多様性の確保と野生動植物の保護管理	47
	(指標で見る重点プロジェクト進捗状況)	48
第3章	快適な環境の保全と創造	49
第1節	自然環境と調和した生活空間の創造	49
1	親しみやすい水環境の保全と創造	49
2	豊かで多様な緑の保全と創造	50
3	良好な景観の保全と創造	50
4	歴史的・文化的環境の保存と整備	53
	(指標で見る重点プロジェクト進捗状況)	54
第2節	人と自然のふれあいの確保	55
1	人と自然のふれあいの推進	55
2	都市と農山漁村の交流の推進	56
3	温泉の保護と活用	56
	(指標で見る重点プロジェクト進捗状況)	57
第4章	すべての主体の参加による行動	58
第1節	自主的な活動の推進	58
1	各主体の協力連携体制の整備	58
2	県民・事業者・行政の自主的取組の推進	58
3	普及啓発・広報	61
第2節	環境教育、環境学習の推進	62
1	環境教育 学習体制の整備	62
2	環境教育・学習活動の推進	63
	(指標で見る重点プロジェクト進捗状況)	66
第5章	地球環境保全に向けた活動の推進と国際交流	67
1	地球温暖化防止対策の推進	67
2	オゾン層保護対策の推進	69
3	酸性雨防止対策の推進	69
4	環日本海諸国との連携強化と協力	69
	(指標で見る重点プロジェクト進捗状況)	70
第3部	平成12年度において講じようとする環境の保全及び	
	創造に関する施策	71
第1章	循環を基調とする経済社会システムの実現	71
第1節	環境への負荷の少ない社会の構築	71
1	廃棄物減量化とリサイクル	71
2	大気環境の保全	74
3	水環境の保全	75
4	土壌・地盤環境の保全	78
5	環境汚染化学物質の適正管理	78
第2節	環境関連産業の振興	79
1	環境関連技術の開発	79
2	環境関連産業の育成・振興	79
第2章	自然と人間との共生の確保	80
第1節	森林、農地、水辺等の持つ環境保全機能の確保	80
1	森林の環境保全機能の確保	80
2	農地の環境保全機能の確保	81
3	都市地域の自然環境の確保	82
4	水辺(河川、溪流、砂浜、沿岸域等)の環境の保全	82
第2節	多様な自然環境の保全と生物多様性の確保	83

1	「貴重な自然」と「身近な自然」の保全	83
2	生物多様性の確保と野生生物の保護管理	84
第3章	快適な環境の保全と創造	85
第1節	自然環境と調和した生活空間の創造	85
1	親しみやすい水環境の保全と創造	85
2	豊かで多様な緑の保全と創造	85
3	良好な景観の保全と創造	85
4	歴史的・文化的環境の保全と整備	88
第2節	人と自然のふれあいの確保	88
1	人と自然のふれあいの推進	88
2	都市と農山漁村の交流の推進	90
3	温泉の保護と活用	90
第4章	すべての主体の参加による行動	91
第1節	自主的な活動の推進	91
1	各主体の協力連携体制の整備	91
2	県民・事業者 行政の自主的取組の推進	91
3	普及啓発・広報	92
第2節	環境教育、環境学習の推進	93
1	環境教育 学習体制の整備	93
2	環境教育・学習活動の推進	94
第5章	地球環境保全に向けた活動の推進と国際交流	95
1	地球温暖化防止対策の推進	95
2	オゾン層保護対策の推進	96
3	酸性雨防止対策の推進	96
4	その他の地球環境問題への取組の推進	97
5	環日本海諸国との連携強化と協力	97
第6章	共通的・基盤的施策の推進	98
1	環境関連高等教育機関等の整備推進	98
2	環境影響評価の推進	98
3	環境情報の整備・提供	98
4	環境に関する監視体制の整備充実及び調査研究の推進	99
5	環境に配慮した社会資本整備等の推進	99
6	環境基本計画推進体制の整備充実	99

資料編（付録）

鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例	101
市町村の環境保全行政機構	104
市町村の環境条例等制定状況	105
環境基準	106
公害防止管理者等の設置を必要とする工場	110
公害関係事犯検挙状況	111
年度別公害苦情種類別受理件数	112
ISO14001認証取得事業所一覧（県内）	113
環境関係用語の解説	114

コラム目次

青谷町の住民が行ったペットボトルリサイクル	25
コンポストセンターいなば	28
棚田ファンクラブ	43
都市景観百選	51

米子市生活学校連絡協議会の取組	59
環境フェスタ '99	62
彦名地区チビツ子環境パトロール隊	64
鳥取農業高等学校における環境教育 学習の取組	65